

平成29年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

# 総 合 問 題

(地域学部 地域学科 人間形成コース)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は5ページ、解答用紙は3枚、下書用紙は3枚である。  
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

**問題 I**

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

[注]：書式を一部、改変した。

[出典] 守屋國光『発達教育論 自我発達と教育的支援』風間書房、2004年。

問1

本文で紹介された一組の親子について学習的に係わるとすればどのような対応が想定されるのか、200字以内で述べなさい。

問2

教育現場においては、何故、「発達の観点」より「学習的観点」が優先されてしまうのか、その理由を列挙し、両者を統合させ得る方法について400字以内で述べなさい。

## 問題Ⅱ

図 1、図 2 をもとに次の問いに答えなさい。

図 1 は、OECD（経済協力開発機構）加盟国民の科学技術への関心（成人の科学技術に関する関心）について 14 か国を比較したものである。また、図 2 は、日本国内で行われた 18 歳以上の者を対象とした調査結果で、科学技術に対する関心と小・中学校の頃の理科の好き嫌いとの関係を示したものである。

図 1 で示されている日本の結果に影響を及ぼす要因について、図 2 から読み取ることのできる特徴を踏まえながら、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

### （参考・出典資料）

文部科学省『平成 13 年版科学技術白書』、平成 13 年、  
OECD, *Science and Technology in the Public Eye*, 1996、  
文部科学省『平成 16 年版科学技術白書』、平成 16 年、  
内閣府『科学技術と社会に関する世論調査』、平成 16 年、  
を基に図表を再構成した。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

図1 OECD加盟国民の科学技術への関心の比較指数

(文部科学省「平成13年版科学技術白書」、平成13年において  
OECD, *Science and Technology in the Public Eye*, 1996を基に作成された図を再構成)

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

図2 科学技術についてのニュースや話題への関心と、小・中学校の頃の理科の好き嫌いとの関係（調査対象は18歳以上の者）

（文部科学省『平成16年版科学技術白書』、平成16年において内閣府『科学技術と社会に関する世論調査』、平成16年を基に作成された図を再構成）